慶應義塾大学学術情報リポジトリ
Keio Associated Repository of Academic resouces

Title	編集後記
Sub Title	
Author	
Publisher	慶應義塾福沢研究センター
Publication year	2016
Jtitle	近代日本研究 (Bulletin of modern Japanese studies). Vol.33, (2016.)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	Article
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN10005325-20160000-0405

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

編集後記

二〇一六年は、小泉信三元塾長が逝去してから五〇年という節目の年であった。そこで、本巻では特集「小泉信三没後五〇年」を組んで慶應義塾内外からご寄稿を募り、池田幸弘、楠茂樹、武藤秀太郎、の各氏から、小泉研究の最前線を示す原稿を頂戴した。あつく御礼申し上げたい。また、二〇一六年は「新塾歌制定七五年」でもあり、小特集を組んで坂部由紀子、山内慶太両氏より詳細に塾歌を考察した論考を頂いた。こちらも心より御礼申し上げる次第である。あわせて、昨年度から引き続いて「演説館開館一四〇年」と題する小特集を組み、内田青蔵氏より貴重な論考を投じていただいた。内田氏のご尽力に感謝したい。

このほか、二〇一六年三月十九日に慶應義塾大学三田キャンパスで開催されたシンポジウム「歴史と記憶とオーラル・ヒストリー」の記録として、都倉武之、蘭信三、大門正克、の各氏の報告内容などを活字化した。ご参照いただきたい。

本巻の一般投稿論文は、査読の結果、論説二本、研究ノート二本を掲載することになった。板垣退助洋行問題、朝鮮人留学生の人脈形成、農民自治、都市庶民金融と多岐にわたる構成となった。例年通り、新たに発見された福沢諭吉関係新資料紹介と、前号に引き続いて明治期の慶應義塾への朝鮮留学生に関する資料も収めた。

本誌は今後とも、福沢諭吉研究、慶應義塾史研究を軸として、近代日本研究の学術交流、成果発表の場を積極的に提供していきたい。次巻は二〇一八年二月刊行予定である。多数の意欲的な論文の投稿を期待する次第である。